

平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	学校給食運営（小学校）	重点評価区分	重点	担当部	教育委員会事務局
				担当課	学務課

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	昭和18年度	根拠法令	学校給食法
性質区分	サービス提供	実施形態	区単独（委託）
対象者	小学生及び小学校に勤務する教職員		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施内容、手段、過去の改善実績等）	<p>【年間給食標準提供回数】 191回</p> <p>【給食費（月額）】 低学年：3,900円、中学年：4,200円、高学年：4,490円*教職員からも給食費を徴収</p> <p>【運営体制】 調理業務は食数に応じ、調理職員（常勤及び非常勤）を配置。今後は順次、民間委託を拡大していく。都費栄養士は、1/2配置のため、非常勤栄養士を区で採用し、20年度より全校配置となった。</p> <p>【多様な給食】 セレクト、リクエスト、バイキング、お弁当、交流給食、PTA試食会の実施等</p>		

2 施策及び事務事業目的

施策番号	施策	1904	いきいきと学校生活が送れるよう、教育環境を整えます
事務事業目的	①区立小学校の児童が、安全で栄養バランスのとれた美味しい給食を提供され、成長期に必要な栄養価を摂取できている。②各学校独自性や自主性を発揮した多様な給食を提供するとともに、食育について推進を図る。③給食室の衛生管理を強化するとともに、給食調理業務を効率的に運営していく。		

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
「残菜量」	—	g	目標	35	27	25
			実績	28	27	27
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
学校給食調理業務委託校数	—	校	目標	17	20	20
			実績	17	20	20
「多様な給食実施率」	実施数（セレ、リク、バイ、弁当）/学校数×4	%	目標	80	80	80
			実績	72	86	74
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度	
収入	特定財源			
	国庫支出金	千円	0	
	都道府県支出金	千円	0	
	その他	千円	0	
	一般財源（a）	千円	1,461,827	
支出	直接事業費（b）	千円	728,757	
	非常勤職員報酬	千円	151,276	
	社会保険	千円	23,051	
	報償費	千円	17	
	費用弁償	千円	83	
	消耗品費	千円	38,903	
	修繕料	千円	6,442	
	通信運搬費	千円	2,961	
	手数料	千円	12,660	
	委託料	千円	464,054	
	使用料及び賃借料	千円	53	
	原材料費	千円	95	
	備品費	千円	24,953	
	負担金	千円	4,209	
	職員人件費（c）	千円	733,070	
	人件費	千円	710,670	
		人	102.05	
	再雇用職員	千円	22,400	
		人	8.00	
	間接費（d）	千円	0	
	調整額（e）	千円	63,480	
	（控）コスト対象外	減価償却費	千円	0
		金利	千円	0
退職給与引当		千円	63,480	
		千円	0	
トータルコスト（f） （b+c+d+e）		千円	1,525,307	

4 単位あたりコスト

項目	単位	24年度
単位の定義		サービス提供回数（給食提供数）
実績数値（g）	回	191
単位あたり区単コスト（a/g）	円	7,653,545
単位あたりコスト（f/g）	円	7,985,901

平成25年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	学校給食運営（小学校）	担当部	教育委員会事務局
		担当課	学務課

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	<p>学校給食調理委託業務は、区職員の退職不補充により民間へ委託化を進め、平成24年度末の時点で小学校20校、中学校9校の計29校を13社の民間事業者へ委託している。これまで給食の質を低下させることなく、コスト削減を進めてきた。</p> <p>加えて、平成20年度をもって栄養士が全校配置されたことにより、以下4点が実現された。</p> <p>①各校の給食室は衛生管理上の監督が行き届く状態となった。</p> <p>②各校で独自の献立作成及び多様な給食の実現（バイキング給食やマナー給食など）が可能となり、独自色を出せるようになった。</p> <p>③教諭と栄養士によるチームティーチングを行い、児童に対して食のありがたさを伝えることができてきている。</p> <p>④各校が直接地元農家と契約することで、地場産物の消費活動に寄与している。</p>		
今後の方向性	改善	<p>学校給食調理委託業務については、区職員による1人校や2人校を解消し、計画的に民間への委託を進め、行政経費の効率化を図る必要がある。</p> <p>また、大地震などの大規模な災害発生時には、学校再開に伴う児童・生徒への給食提供を最優先に考える必要があるが、一方で学校施設は、一次避難所の役割も担っているため、学校活動に支障がない範囲で避難者が給食施設の機能を利用できる仕組みも検討する必要がある。</p> <p>さらに、各校独自の食育推進授業や多様な献立については、各種イベントや媒体を活用することで広く区内外に、葛飾ブランドの給食を発信していく必要がある。</p>	
	継続		

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

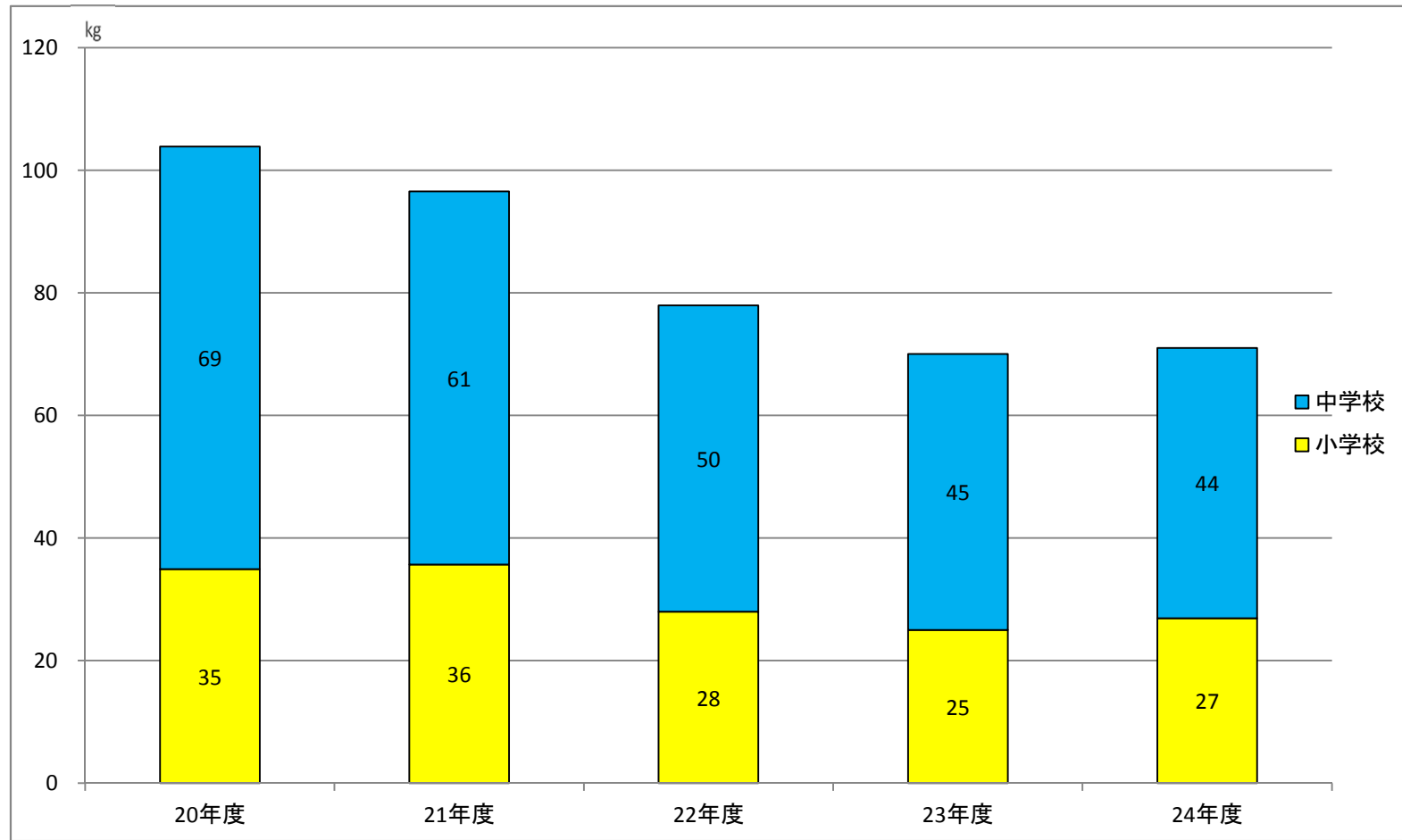
成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度
			目標			
			目標			

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
				目標			
				目標			
				目標			
				目標			

行政評価委員会の意見や予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載し、区民に公表します。

給食残菜量(1日1人あたり)の推移(平成20年度～24年度)



単位(g)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	5年間削減率
小学校	35	36	28	25	27	23.0%
中学校	69	61	50	45	44	36.0%
合計	104	97	78	70	71	31.7%

給食調理委託校の推移

活動指標の状況
(学校給食調理業務委託校数)

	小学校		中学校	
	累計	学校名	累計	学校名
13年度	1	清和		
17年度	3	木根川・東金町	3	大道・一之台・東金町
18年度	6	本田・松上・西小菅	6	金町・中川・四ツ木
19年度	8	水元・南奥戸	7	桜道
20年度	12	上千葉・二上・白鳥・幸田		
21年度	14	上小松・細田		
22年度	17	柴又・花の木・半田	8	本田
23年度	20	上平井・宝木塚・西亀有		
24年度			9	奥戸
25年度	23	南綾瀬・柴原・東柴又		

多様な給食形態実施状況

毎月提出される給食内容評価表からカウント

小学校		給食内容				実施校数合計	実施校数/学校数×4
		セレクト	リクエスト	バイキング	お弁当		
20	実施校数	41	37	33	42	153	78%
21	実施校数	40	37	31	41	149	76%
22	実施校数	40	31	30	40	141	72%
23	実施校数	44	40	39	45	168	86%
24	実施校数	38	32	33	42	145	74%

中学校		給食内容				実施校数合計	実施校数/学校数×4
		セレクト	リクエスト	バイキング	お弁当		
20	実施校数	15	19	12	17	63	66%
21	実施校数	19	18	14	20	71	74%
22	実施校数	18	20	9	21	68	71%
23	実施校数	19	21	10	21	71	74%
24	実施校数	19	18	13	19	69	72%

平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	学校給食運営（小学校）	重点評価 区分	—	担当部	教育委員会事務局
				担当課	学務課

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	昭和18年度	根拠法令	学校給食法
性質区分	サービス提供	実施形態	区単独（委託）
対象者	小学生及び小学校に勤務する教職員		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等）	<p>【年間給食標準提供回数】 191回</p> <p>【給食費（月額）】 低学年：3,900円、中学年：4,200円、高学年：4,490円＊教職員からも給食費を徴収</p> <p>【運営体制】 調理業務は食数に応じ、調理職員（常勤及び非常勤）を配置。今後は順次、民間委託を拡大していく。都費栄養士は、1/2配置のため、非常勤栄養士を区で採用し、20年度より全校配置となった。</p> <p>【多様な給食】 セレクト、リクエスト、バイキング、お弁当、交流給食、PTA試食会の実施等</p>		

2 施策及び事務事業意図

施策	名称	教育環境
	意図	整った教育環境のもとで、いきいきと学校生活を送っている。
事務事業意図	①区立小学校の児童が、安全で栄養バランスのとれた美味しい給食を提供され、成長期に必要な栄養価を摂取している。②各学校独自性や自主性を発揮した多様な給食を提供するとともに、給食調理業務を効率的に運営している。	

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
「残菜量」	—	g	目標	34.50	34.50	26.50
			実績	35.70	28.00	26.50
「多様な給食実施率」	実施数（セレ、リク、パイ、弁当）／学校数×4	%	目標	80.00	80.00	80.00
			実績	76.00	71.94	85.71

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
学校栄養職員配置数	—	人	目標	49	49	49
			実績	49	49	49
学校給食調理業務委託校数	—	校	目標	14	17	20
			実績	14	17	20
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度	
収入	特定財源					
	国庫支出金	千円	0	0	0	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	
	一般財源 (a)	千円	1,612,217	1,540,513	1,699,024	
支出	直接事業費 (b)	千円	606,987	653,823	815,924	
	非常勤職員報酬	千円	146,063	147,201	145,918	
	社会保険	千円	19,699	21,800	21,934	
	報償費	千円	60	0	0	
	費用弁償	千円	83	68	52	
	消耗品費	千円	37,876	45,996	42,527	
	賄費	千円	0	0	0	
	修繕料	千円	10,812	10,276	8,355	
	通信運搬費	千円	113	1,798	2,198	
	手数料	千円	14,197	15,156	15,340	
	委託料	千円	325,210	392,343	458,235	
	使用料及び賃借料	千円	45	55	48	
	原材料費	千円	92	112	77	
	備品費	千円	48,529	14,810	117,024	
	負担金	千円	4,208	4,208	4,216	
		職員人件費 (c)	千円	1,005,230	886,690	883,100
		人件費	千円	979,230	858,090	869,600
			人	132.30	119.30	108.70
		再雇用職員	千円	26,000	28,600	13,500
			人	10.00	11.00	5.00
		間接費 (d)	千円	0	0	0
		調整額 (e)	千円	77,910	102,960	73,530
		減価償却費	千円	0	0	0
	金利	千円	0	0	0	
	退職給与引当	千円	77,910	102,960	73,530	
	(控) コスト対象外	千円	0	0	0	
	トータルコスト (f) (b+c+d+e)	千円	1,690,127	1,643,473	1,772,554	

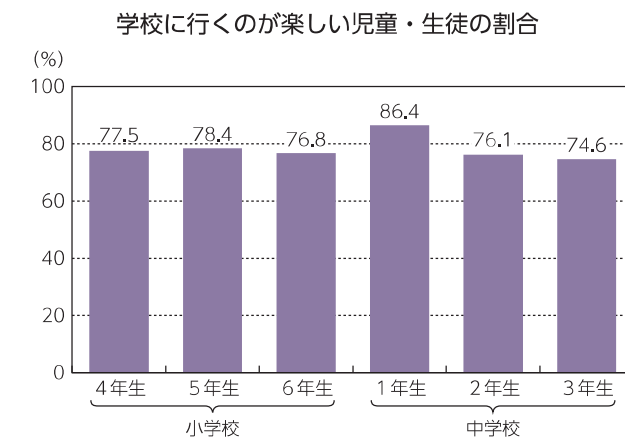
4 単位あたりコスト

項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		サービス提供回数（給食提供数）		
実績数値 (g)	回	191	191	191
単位あたり区単コスト (a/g)	円	8,440,927	8,065,513	8,895,414
単位あたりコスト (f/g)	円	8,848,832	8,604,571	9,280,387

施策04 いきいきと学校生活を送れるよう、教育環境を整えます

【施策を取り巻く現状と課題】

- 学校施設については、その多くが昭和30年代から昭和40年代にかけて建築されたものであるため老朽化が進んでおります。そのため、計画的な改築や保全が必要となっています。
- 学校のトイレは、全部で163系統ありますが、平成23年度末までに97系統を改修してきました。今後は、残っている未改修のトイレの計画的な改修が求められます。



出典：「確かな学力の定着度調査」（平成24年度）

- 校庭の芝生化を進めています。芝の維持管理のためには、PTAや地域の方々による組織の立ち上げが必要です。
- 学校では、部活動の支援や災害時の対応などを目的として、校庭に夜間照明設備の設置を進めています。本事業の推進にあたっては、近隣の方々のご理解が必要です。
- 本区が実施した平成24年度「確かな学力の定着度調査」では、学校に行くのが楽しいと感じている小学4年～6年生の平均が77.6%、中学1年～3年生の平均が79.0%となっています。

【施策の方向】

- 子どもたちが安全かつ安心して学校生活を送れるよう教育環境を充実していきます。
- 学校施設の老朽化や現在の多様化した教育ニーズに適切に対応していくため、将来の児童・生徒数を踏まえ、学校規模の適正化なども視野に入れながら、校舎の改築・改修を行っていきます。



改築を進めている中青戸小学校の鳥瞰図

- 児童・生徒から親しまれる使いやすいトイレへの改修を進めるとともに、地域の理解や協力などの態勢を整えながら校庭の芝生化や夜間照明の設置などの教育環境の整備を行っていきます。

【指標と目標値】

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
学校に行くのが楽しい 児童・生徒の割合 (%)	確かな学力の定着度調 査 (学習意識調査)	79.0	79.4	79.7	80.1

【計画事業】

事 業 名	事 業 内 容
学校施設の改築	適切な学習環境を確保できるよう老朽化の状況や学校規模の適正化などを視野に入れながら、学校施設の改築実施計画を策定し、計画的に改築を進めます。
学校トイレの改修	学校トイレを快適にするため、和式便器から洋式便器への取替え等の改修工事を行います。
〈新〉 校庭の芝生化	ヒートアイランド対策及び砂塵対策、また、子どもたちがのびのびと校庭で遊ぶことができる環境を整備するため、校庭の芝生化を進めます。
学校の夜間照明設備の整備	学校の部活動や地域住民によるスポーツ活動の環境整備を進めるとともに、災害発生時の夜間避難所の照明手段として活用することを目的に、学校に夜間照明を設置します。

〈事業一覧〉 (平成24年度実施)

外国人学校児童生徒保護者負担軽減	学校給食運営 (中学校)
私立学校認可等事務	学校衛生管理 (小学校)
校舎建設 (学校施設の改築)	学校衛生管理 (中学校)
教育委員会運営	結核検診 (小学校)
通学児童の案内等業務委託	結核検診 (中学校)
学校安全受付業務委託	就学援助 (小学校)
奨学資金貸付	就学援助 (中学校)
私立高校・大学等入学資金融資事業	就学奨励 (小学校)
学校等職員被服貸与	就学奨励 (中学校)
学校施設維持管理 (小学校)	黄色い帽子・ランドセルカバー・防犯ブザー購入
学校施設維持管理 (中学校)	学齢児童、生徒就学事務
校舎等改修 (小学校)	校具・教材等管理 (小学校)
校舎等改修 (中学校)	校具・教材等管理 (中学校)
トイレ全面改修 (小学校)	小学校運営事業
トイレ全面改修 (中学校)	中学校運営事業
学校給食運営 (小学校)	